

## 『愛知淑徳大学論集：人間情報学部篇』 投稿のご案内

[投稿期限] 各年度 11 月末を予定 ※詳細については委員会までお問い合わせください。

[提出先] 論集編集委員（親松和浩 村主朋英\* 山崎茂明 安田恭子）\* = 委員長  
※委員長連絡先 〈muransky @ asu.aasa.ac.jp〉

[刊行期日] 各年度 3 月中旬を予定

[備考]

1. 抜き刷りについては、1 編あたり 20 部を無料で贈呈する。それ以上を希望する場合は著者の実費負担とする。（10 部単位、上限 50 部）
2. 人間情報学部に所属する専任教員以外の著者（共著者）には、できあがりの冊子 2 部を著者に贈呈する。

以上

---

## 投稿要領

[投稿資格] 〈単著の場合〉

1. 人間情報学部に所属する専任教員。

〈共著の場合〉

2. 単著の場合と同じ。ただし、共著者に「1.」以外の者を含む場合、代表者（筆頭著者）は「1.」に該当する者でなければならない。

[条件]

1. 未発表の著作であること。
2. 校正時に内容の修訂等を要しない完全原稿であること。
3. A4 判用紙で 8～12 枚（41 文字・36 行）に相当する量を標準とする。

[原稿の提出]

1. 原稿はコンピュータを用いて作成し、データファイルを電子的手段で提出すると同時に、印字原稿を添えることとする。電子的手段による提出の際にはデータフォーマット（作成ソフト名）を明記すること。なお、Microsoft Word 以外のソフトウェアを使用する場合はあらかじめ問い合わせること。また、数式を含む原稿については TeX による入稿が可能である。
2. 図表はそのまま版下原稿として使用できるようプリントアウトされたものを添える。なお、図表の挿入箇所を印字原稿に朱書する。その他、外字等の特殊な指定・希望についても、印字原稿余白に朱書で指示する。
3. 原稿に表紙を付し、そこに論文タイトル、英文タイトル、著者の氏名・所属および氏名のアルファベット表記（共著の場合は全員）を明記する。
4. 続けて、抄録およびキーワードリストを添付する。使用言語は日本語または英語とする（ただし専門用語等、特定の理由のあるものはその限りではない）。なお、キーワードリストは国立情報学研究所の情報検索システム等を用いてアクセスする際に寄与する。
5. 文章の形式、表記方法、図表・数式のスタイル等については分野ごとの範例または慣例によることとする。

[原稿の扱い]

1. 掲載原稿の種別は、以下のとおりとする。  
(1)原著論文 (2)研究ノート  
(3)その他編集委員会の認めるもの（依頼に基づく寄稿、講演要旨等）
2. 委員会は投稿原稿に対して査読（審査）を行なう。査読にかかわる規程および手順は別途設ける。

[校 正]

1. 著者による校正を二校まで行う。三校以降は委員会が行なう。
2. 修正は、版組工程における過誤及び字句訂正等の範囲にとどめる。

[著 作 権]

1. 本論集に掲載された論文、抄録等の著作権は愛知淑徳大学に帰属する。  
本論集に掲載された論文・抄録等は、アカデミックポータル「リポジトリ」により電子化・公開される。
2. 論文、抄録等の全部または一部を公開したくない、またはできない事情がある場合は、あらかじめその旨を編集委員会に連絡しなければならない。
3. 図表の引用等により、著者以外に帰属する著作権の処理が必要となる場合、著者が投稿までにあらかじめ処置を完了する。